



令和6年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年1月15日

上場会社名 アクサスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3536 URL <https://www.axas-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久岡 卓司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 新藤 達也 TEL 078-391-4000
 四半期報告書提出予定日 令和6年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年8月期第1四半期の連結業績（令和5年9月1日～令和5年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年8月期第1四半期	2,795	4.0	△37	—	△69	—	△55	—
5年8月期第1四半期	2,687	△0.7	119	△4.7	87	△8.3	81	△9.5
(注) 包括利益	6年8月期第1四半期		△53百万円 (—%)		5年8月期第1四半期		85百万円 (3.8%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年8月期第1四半期	△1.84	—
5年8月期第1四半期	2.68	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
6年8月期第1四半期	18,914	1,904	10.1	62.81	
5年8月期	17,594	2,079	11.8	68.57	
(参考) 自己資本	6年8月期第1四半期		1,904百万円	5年8月期	2,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年8月期	—	0.00	—	4.00	4.00
6年8月期	—				
6年8月期(予想)		0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 配当金の内訳

令和5年8月期期末 普通配当2円00銭 特別配当2円00銭

3. 令和6年8月期の連結業績予想（令和5年9月1日～令和6年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,231	8.6	182	△3.0	116	△12.5	103	△12.1	3.43
通期	12,386	12.0	411	124.4	280	740.3	260	—	8.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年8月期1Q	30,325,252株	5年8月期	30,325,252株
② 期末自己株式数	6年8月期1Q	—株	5年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年8月期1Q	30,325,252株	5年8月期1Q	30,325,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（令和5年9月1日から令和5年11月30日まで）のわが国の経済は、米欧各国の中央銀行による金融引き締めや中東情勢の緊迫化等により世界経済の減速懸念が強まっております。国内においては、ウクライナ危機による資源高や長引く円安の影響等でガソリンや電気、食料品といった生活必需品が高騰し、消費者の生活防衛意識が高まってきております。一方で、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の撤廃で、消費者行動が旅行やレジャー、外食等の外出関連の消費行動に移ったことや、長引く円安により外国人観光客が増加し、インバウンド需要が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準近くまで回復する傾向も見られました。そのような経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の生活文化の質的な向上を「美・健康・ゆとりの側面」から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値の更なる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的な取り組みとして、令和5年9月、チャーリー川内店（徳島県徳島市）において、化粧品品の品揃えを充実するリニューアルを実施するとともに、複合施設YAMASHIRO TERRACE（徳島県徳島市）にあったサイクルショップG o G o B I K Eをデコール川内店（徳島県徳島市）に移転いたしました。また、アウトドア用品を新たに品揃えし、サイクルキャンプを提案する店舗にリニューアルいたしました。同年同月、同複合施設にあったアウトドアショップ好日山荘徳島山城店（徳島県徳島市）をアレックススポーツ沖浜店（徳島県徳島市）に移転リニューアルオープンいたしました。同年10月、国内外のウイスキーや入手困難なウイスキーを数多く取り扱う川端WHISKY Established in 2023（福岡市博多区）を福岡県に初出店いたしました。その一方で、同年同月、チャーリーDSランチ大津京店（滋賀県大津市）を閉店いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、42店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高は2,795百万円（前年同四半期比4.0%増）となり、営業損失は37百万円（前年同四半期は営業利益119百万円）、経常損失は69百万円（前年同四半期は経常利益87百万円）となりました。法人税等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は55百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケアユニットでは、人気商品の販売を強化したインポートコスメカテゴリーの販売が好調に推移いたしました。一方で、高額クレンジング商品等の客注が減少したことによりスキンケアカテゴリーの販売が苦戦いたしました。

ライフスタイルユニットでは、天然の素材を香りで表現したフレグランスのリードディフューザー等、アロマカテゴリーの販売が好調に推移いたしました。一方で、9月以降の残暑が長引いた影響により前年同四半期販売が好調だったアパレル部門のトップスやアウター等の高単価商品の販売が振るいませんでした。

アスレユニットでは、アレックススポーツ沖浜店におけるリニューアル前のセールが好評だったことや9月以降の残暑が厳しかったことにより、ジュニア・キッズのTシャツ等のトップスの販売が好調に推移いたしました。一方で、暑さが長引いた影響もあり、冬物アイテムの消費者需要が落ち込み販売が苦戦いたしました。

ホームキーパーユニットでは、製図用シャープペンやボールペンの限定品等の専門文具カテゴリーの売上が好調に推移いたしました。一方で、9月から10月の記録的な猛暑の影響で野菜苗や花苗の販売が落ち込みました。

アルコユニットでは、国内出荷量が年々減少傾向にある日本酒や焼酎の販売が減少いたしました。ECサイトを含めた各店舗において、高単価のウイスキーやシャンパン等の販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は1,961百万円（前年同四半期比14.0%増）、セグメント損失は13百万円（前年同四半期はセグメント利益50百万円）となりました。

② 卸売事業

卸売事業につきましては、コストパフォーマンスに優れたウイスキーやワイン等、低価格帯商品の販売が好調に推移いたしました。一方で、販売価格の値上げによる買い控えや物流が安定したことによる価格競争が発生しました。六甲山蒸溜所につきましては、認知度が高まったことによる販売の拡大やインバウンド向け需要等により販売は好調に推移いたしました。価格高騰による買い控えや高価格帯商品の低迷、価格競争の激化が影響し、セグメント利益を押し上げるには至りませんでした。

これらの結果、売上高は898百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益は22百万円（同81.3%減）となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、所有物件の価値を維持、向上させることにより、引き続き既存テナントからの安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は162百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は67百万円（同2.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は18,914百万円（前期末比7.5%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,320百万円増加しました。これは主に、現金及び預金1,359百万円、売掛金112百万円等の増加に対し、棚卸資産68百万円等の減少によるものであります。

負債合計は17,009百万円（同9.6%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,494百万円増加しました。これは主に、短期借入金1,589百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金917百万円、社債200百万円等の増加に対し、未払金1,065百万円等の減少によるものであります。

純資産合計は1,904百万円（同8.4%減）となり、前連結会計年度末に比べ174百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失55百万円、配当金の支払121百万円による利益剰余金の減少に対し、その他有価証券評価差額金2百万円の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は10.1%（同1.7ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和5年10月13日付「令和5年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,917	2,156,955
売掛金	447,364	559,508
棚卸資産	4,939,931	4,871,910
預け金	29,754	17,222
未収還付法人税等	33,664	33,664
その他	186,507	133,695
貸倒引当金	△2,132	—
流動資産合計	6,433,007	7,772,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,227,634	2,213,293
機械装置及び運搬具(純額)	276,184	267,686
什器備品(純額)	214,607	270,879
リース資産	13,498	16,941
土地	6,446,032	6,446,032
建設仮勘定	881	4,091
有形固定資産合計	9,178,837	9,218,924
無形固定資産		
のれん	541,664	532,612
借地権	58,348	58,348
ソフトウェア	42,140	40,703
ソフトウェア仮勘定	37,961	47,283
電話加入権	7,821	7,821
無形固定資産合計	687,936	686,770
投資その他の資産		
投資有価証券	134,711	138,025
繰延税金資産	322,340	344,105
敷金及び保証金	537,878	537,095
破産更生債権等	4,686	4,686
その他	286,891	202,186
貸倒引当金	△4,686	△4,686
投資その他の資産合計	1,281,822	1,221,412
固定資産合計	11,148,596	11,127,106
繰延資産		
社債発行費	12,775	14,386
繰延資産合計	12,775	14,386
資産合計	17,594,380	18,914,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	543,197	523,128
短期借入金	8,340,082	9,930,000
1年内返済予定の長期借入金	298,251	388,251
リース債務	4,331	5,201
未払法人税等	27,807	5,577
賞与引当金	22,518	12,215
未払金	1,248,354	183,158
その他	203,222	102,804
流動負債合計	10,687,765	11,150,336
固定負債		
社債	600,000	800,000
長期借入金	3,540,490	4,368,219
リース債務	10,954	13,741
役員退職慰労引当金	100,449	100,510
資産除去債務	203,420	204,631
受入保証金	337,492	337,693
繰延税金負債	—	2,719
その他	34,446	31,999
固定負債合計	4,827,252	5,859,515
負債合計	15,515,018	17,009,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,686,487	1,686,487
利益剰余金	327,334	150,386
株主資本合計	2,063,821	1,886,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,540	17,724
その他の包括利益累計額合計	15,540	17,724
純資産合計	2,079,361	1,904,598
負債純資産合計	17,594,380	18,914,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和4年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和5年11月30日)
売上高	2,687,761	2,795,942
売上原価	1,869,200	2,065,865
売上総利益	818,560	730,076
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	233,375	239,559
その他	465,383	527,959
販売費及び一般管理費合計	698,759	767,519
営業利益又は営業損失(△)	119,801	△37,442
営業外収益		
受取利息	70	54
その他	1,614	1,695
営業外収益合計	1,684	1,750
営業外費用		
支払利息	25,128	26,479
為替差損	4,925	4,601
その他	3,882	2,918
営業外費用合計	33,935	33,999
経常利益又は経常損失(△)	87,550	△69,691
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	87,550	△69,691
法人税、住民税及び事業税	6,188	6,130
法人税等調整額	213	△20,175
法人税等合計	6,401	△14,044
四半期純利益又は四半期純損失(△)	81,148	△55,646
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	81,148	△55,646

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和4年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和5年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	81,148	△55,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,422	2,183
その他の包括利益合計	4,422	2,183
四半期包括利益	85,571	△53,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,571	△53,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 令和4年9月1日 至 令和4年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,719,890	806,716	—	2,526,606
その他の収益	—	—	160,625	160,625
外部顧客への売上高	1,719,890	806,716	160,625	2,687,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,338	54,850	1,144	57,332
計	1,721,228	861,566	161,770	2,744,565
セグメント利益	50,768	121,283	66,561	238,612

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	528	2,527,135	—	2,527,135
その他の収益	—	160,625	—	160,625
外部顧客への売上高	528	2,687,761	—	2,687,761
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	57,332	△57,332	—
計	528	2,745,094	△57,332	2,687,761
セグメント利益	510	239,123	△119,322	119,801

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△119,322千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 令和5年9月1日 至 令和5年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,835,840	798,253	—	2,634,093
その他の収益	—	—	161,427	161,427
外部顧客への売上高	1,835,840	798,253	161,427	2,795,521
セグメント間の内部売上高又は振替高	126,140	100,184	1,199	227,523
計	1,961,980	898,437	162,627	3,023,045
セグメント利益又は損失(△)	△13,516	22,724	67,978	77,186

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	四 半 期 連 結 損 益 計 算 書 計 上 額 (注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	420	2,634,514	—	2,634,514
その他の収益	—	161,427	—	161,427
外部顧客への売上高	420	2,795,942	—	2,795,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	227,523	△227,523	—
計	420	3,023,466	△227,523	2,795,942
セグメント利益又は損失(△)	399	77,585	△115,027	△37,442

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△115,027千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。